須恵剣友会、小学生の部 10 連覇達成

４月 29 日（火）、第 36 回ライオンズ旗争奪少年剣道大会（花鶴福岡ライオンズクラブ主催）がクロスパルこが（古賀市）で行われ、糟屋・宗像地区の小中学生 69 チーム、470 名が参加しました。

小学生の部団体戦で見事優勝を収め、第 27 回大会から連続して 10 連覇の偉業を達成しました。

小学生の部に出場した後藤春樹くん（第三小６年）は、「チームのみんなと力を合わせて優勝することができてよかったです。もっと稽古をがんばって、どの大会でも優勝できるようになりたいです。」と決意を新たにしていました。

快進撃を続ける剣士たち

須恵 beat、パート優勝

４月 19 日（土）、20 日（日）、第 18 回ぼたやま杯ミニバスケットボール大会（ぼたやま杯ミニバスケットボール大会実行委員会主催）が筑豊地区と糟屋地区で行われ、県内外から小学生男子 146 チーム、小学生女子 127 チームが参加しました。

５パートに分かれ、トーナメント戦を行なった結果、見事パート優勝を収めました。

指導者は、「基礎練習をしっかりとして各大会に向けて、１つでも上位をめざしていきたいです。」と話されていました。

チーム全員で力を合わせて勝ち取りました

吉松哲一さん　旭日双光章を受章

旭日双光章とは、長年にわたって地方自治や社会福祉などで活躍して、その功績を認められた人に贈られる叙勲です。この旭日双光章を吉松哲一さん（須恵区）が受章されました。

吉松哲一さんは、昭和 50 年から平成７年までの 20 年間、須恵町議会議員として住民の福祉と町政の発展に尽力されました。この間、総務文教委員会委員長として教育相談室の開設などに取り組み、生涯学習の基本となる学力を身につける教育拡充事業のために尽力されました。また、町議会議長としては、地方行政における問題に積極的に取り組み、議会活動を通じて、地方自治の発展などに大きく貢献されました。人口増加に伴う新たな行政需要と課題の解決に尽力し、議会活動の活性化に大きく貢献されました。

吉松　哲一さん

中嶋町長が４選初登庁

５月１日（木）、４選を果たした中嶋町長が、町職員が出迎えるなか、役場に初登庁しました。

役場玄関前で出迎えを受けた中嶋町長は、女性職員から花束を受け取った後、職員の拍手に笑顔で応えながら庁舎に入りました。

中嶋町長は、職員に対し「町が抱える問題を、皆さんと一緒に取り組んでいきましょう。」「未来を担う子どもたちに、未来が約束できるまちづくりを推進していきましょう。」と話されていました。

職員から花束を受け取る中嶋町長

盛大につつじまつり開催

４月 29 日（火）、恒例の第 11 回商工つつじまつりＩＮ　ＳＵＥ（須恵町商工会主催）が健康広場で開催されました。

この日は心配された天気も崩れることなく、会場には町内外から約 3000 人が訪れ、ステージでは、和太鼓演奏や大抽選会などが行われました。今年は糟屋郡猟友会須恵支部によるイノシシ肉の無料試食会が行われ、大盛況で長蛇の列ができていました。

一方、皿山公園では約３万本のつつじが見ごろを迎え、会場からシャトルバスなどを利用して多くの人が訪れました。見ごろのつつじは、訪れた人の目をとても喜ばせていました。公園内には写真を撮る人が多くみられました。

イノシシ試食会は長い行列ができていました

健やかな子どもの成長を祈願

４月 23 日（水）、24 日（木）の両日、守母神社大祭が行われました。地元の甲植木区の女性たちによる接待などが行われ、訪れた人たちは、子どもたちの健やかな成長を祈願しました。

「守母神社の伝説」は、町の無形民俗文化財に指定されている悲話です。16 世紀半ば、高鳥居城落城の際、乳母が杉弾正の子を連れて道林寺に落ちのびる途中、岩陰に潜んでいたところ、子の泣き声で見つかり捉えられてしまいます。首をはねられた際「自分が殺されても世の中の泣く子の味方となり守り続ける。」と誓ったと伝えられ、乳母の霊を守母様として祀り、夜泣き止めや育児の神社として信仰を集めています。

道林寺の和尚による法要が行われました